

～男女共同参画についての素朴なギモン～ “Part7”

# 男女共同参画ってなあに？

男女共同参画社会とは、

男性と女性が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

- 家族みんなで積極的に家事や子育て、介護などを行っています。
- 家族みんなが笑顔で、家族の夢を支え合い、協力しながら絆を深めています。

- ボランティア活動などに男性も女性も主体的に関わり、住みよい地域づくりに参画しています。
- 子育てや介護などを地域全体で支え、安心して安全な地域づくりが進められています。

家庭では…



地域では…



## 男女共同参画社会が実現すると

学校では…



職場では…



- 進学や就職などにおいて、性別にかかわらず個人の意思や能力を尊重した進路選択ができています。
- 発達段階に応じて、友だちや家庭との人間関係のあり方を学ぶとともに、相互に人格を尊重することの大切さを学んでいます。

- 男性も女性も、家庭・地域生活との両立ができ、働きやすい職場環境になっています。
- 男女の均等な機会と待遇が確保され、個性、能力、意欲などが十分に発揮されています。

裏面もご覧ください ▶

# 男性にとっての男女共同参画

「男女共同参画は女性のためだけのものだ」と考えておられる方はいらっしゃいませんか。でも実は男性にとっても、とても大切な問題なのです。

今回は、男性の視点から男女共同参画について考えてみましょう。

男性の皆さんで、例えばこんなことを感じたり、聞かれたことはありませんか。

- 家族を経済的に支えるのは自分たち男性だと思うが、仕事ばかりじゃなく家庭の時間も大切にしたい。
- 結婚相手に求める条件に「経済力」を挙げる女性が少なくないらしいが、今の自分の収入では結婚して生活する自信がない。
- 育児休業を取ろうと上司に相談したが、「父親の君がなぜ休むの？」と言われてあきらめた。

女性が「固定的な性別役割分担意識」（「男は仕事、女は家庭」という考え方）によって、社会進出が阻まれてきた、ということはよく言われてきましたが、一方で、男性も性別で役割を固定されてきたといえるのではないのでしょうか。

実際に、「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という枠にとらわれることはさまざまな生きづらさを生み出しています。「弱音を吐くべきではない」との思いから、仕事と家庭の責任をひとりで抱え込んでしまっていないでしょうか。

男性も女性も生きやすい社会をつくるためには、男性自らが、生き方を見つめ直すという「意識」や「気づき」が必要です。男性も女性も家庭や仕事においてさまざまな生き方が認められ、だれからも押し付けられることなく、自らの意思で選ぶことのできる環境は、男性にとっても意義のあることです。

**男女共同参画を意識していくことによって、もっと自分らしくいきいきと暮らしていくことができるのではないのでしょうか。**

## 新しいプラン（姫路市男女共同参画プラン2022）を策定

これは、男女共同参画について取り組む内容をまとめたもので、平成25年度から平成34年度までの10年間の計画です。



発行／姫路市男女共同参画推進課

姫路市男女共同参画推進センター “あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階

TEL (079) 287-0803 FAX (079) 287-0805

ホームページ 男女共同参画推進課 <http://www.city.himeji.lg.jp/2870803>

姫路市男女共同参画推進センター

**あいめっせ**  
I-messae

Himeji City Gender Equality Promotion Center